

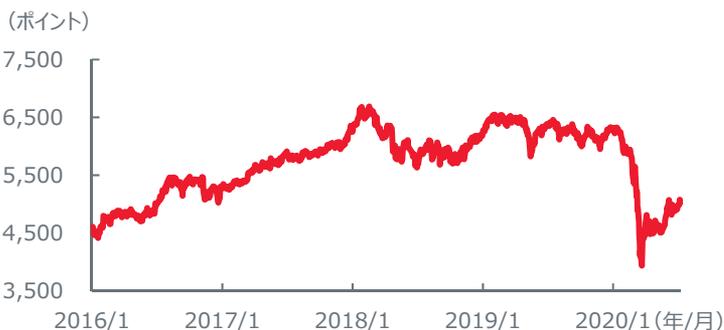
Indonesia Weekly

2020年7月13日



(対象期間：2020/7/6～2020/7/10)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年7月10日)



【株式市場】

週初は、リスクセンチメントの回復からアジア株式市場が上昇する中で、インドネシアの株式市場も国内投資家からの資金流入を背景に上昇しました。特に銀行株は、政府による国営イスラム銀行の合併計画や16日のインドネシア中央銀行（BI）の政策決定会合での利下げ期待を背景に大幅に上昇しました。また、パーム油が堅調に推移していることなどを背景に農業株も堅調となりました。週後半は利益確定売りで下落しましたが、週間では上昇となりました。

2020/7/3	2020/7/10	変化率
4,973.79	5,031.26	+1.16%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年7月10日)



【債券市場】

6日、財務省とBIは新型コロナウイルスへの対策として、財政赤字の負担について分担することで合意しました。国が発行する約400兆ルピア（約3兆円）の国債をBIが直接購入し、利息は返還されます。BIの国債引受については、中央銀行の独立性や物価安定に悪影響があると懸念されていましたが、発表後は需給の引き締めなどが意識され、週末にかけてインドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）傾向となりました。週間でも利回り低下となりました。

2020/7/3	2020/7/10	変化幅
7.222	7.078	-0.144

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年7月10日)



【為替市場】

6日にBIと財務省の間での財政赤字負担の詳細が明らかになり安心感が広がったことや、7日に発表された6月末基準の外貨準備高が1,317億米ドルと、2018年1月に記録した過去最高の1,320億米ドルに迫る水準となったことなどを好感してルピアは堅調となりました。10日は政府が発表するコロナウイルス感染者数と死者数が実態を反映していないとの報道などを受けてやや弱含みしました。週間ではルピアは対米ドルで上昇、対円ではわずかに下落しました。

2020/7/3	2020/7/10	変化率
0.7402	0.7387	-0.20%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

